

全体	No.5 2
個別	013-01

平成25年度 [上対馬地域活性化センター] 目標の成果

課名	地域支援課
----	-------

No.	項目	自然環境の保持及び農林水産業の担い手の育成
	1. 組織目標	<p>【内容】 自然とふれあいながら農林水産業の生産活動を子どもたちに体験してもらい、自然や資源への理解を深め、次世代の担い手育成につなげます。</p> <p>【指標】 上対馬管内の小学校3校すべてにおいて農林水産業の体験事業を実施します。 ・稚貝や稚魚の放流体験 ・魚さばき体験 ・しいたけの採取体験 ・田植え、収穫体験</p>
	2. 実績(成果)	<p>○豊小学校魚さばき体験事業 (H26. 2. 26実施、5～6年生親子22名)</p> <p>○比田勝小学校ヒラメ稚魚放流事業 (H25. 7. 12実施、5年生26名、1,000匹放流)</p> <p>○南陽小学校魚さばき体験事業 (H25. 7. 3実施、全学年親子31名)</p> <p>○比田勝小学校米の田植え体験事業 (H25. 6. 6実施、5年生26名)</p> <p>○比田勝小学校米の収穫体験事業 (H25. 10. 19実施、5年生26名)</p>
	3. 評価	○
		<p>上対馬管内の小学校3校すべてにおいて、5回の体験事業を実施し、子どもたちに学習の場を提供することができましたが、しいたけの採取体験については、学校との日程調整ができず実施することができませんでした。</p>
	4. 今後の展開	<p>今後も漁協等関係機関との連携、「舟志の森自然学校」の活用により、農林水産業の体験事業を継続し、数多くの子どもたちが自然とふれあいながら学習できる場を提供し、農林水産業の担い手育成に努めます。</p>

全体	No.53
個別	013-02

平成25年度 [上対馬地域活性化センター] 目標の成果

課名	地域支援課
----	-------

No.	項目	豊かな自然や伝統を活かした体験型・地域密着型観光の推進
	1. 組織目標	
	<p>【内容】 上対馬の豊かな自然や伝統を活かした体験型・地域密着型観光を推進することにより、交流人口を増やし、産業を活性化させることで、地域の雇用拡大・消費拡大を図り、賑わいを取り戻すことを目指します。</p> <p>【指標】 ○市道改修（3路線）、遊歩道改修、豊砲台跡内部改修、ひとつばたご保護ワイヤーメッシュ柵設置 ○「舟志の森自然学校」来客数 2,000人</p>	
	2. 実績(成果)	
	<p>○市道改修（3路線）、遊歩道改修、豊砲台跡内部改修、ひとつばたご保護ワイヤーメッシュ柵設置</p> <p>○「舟志の森自然学校」来客数 851人</p>	
	3. 評価	△
	<p>○観光ルート整備事業については、一部繰り越しており本年度中にすべての事業が完成予定です。</p> <p>○「舟志の森自然学校」については、ツシマヤマネコの生態研究事業者の減少や、もみじ街道ウォーキング大会などのイベントが行われなかったことにより、大幅に来客数が減少しました。</p>	
	4. 今後の展開	
	<p>○観光ルート整備事業については、今年度中にすべての事業が完成しますので、北部観光の拠点として市民や観光客の利用促進を図ります。</p> <p>○「舟志の森自然学校」については、体験メニューの充実を図るとともに、島内外へ積極的なPRを行い、利用客の増加を図ります。</p>	

全体	No.54
個別	013-03

平成25年度 [上対馬地域活性化センター] 目標の成果

課名	住民生活課
----	-------

No.	項目	窓口サービスの適正・迅速化
	1. 組織目標	<p>【内容】 職員相互間の情報共有化を図り、市民ニーズに対し広い間口体制を構築し、主担当が不在でも市民ニーズに応えられる体制づくりと、窓口・電話対応の向上に努めます。</p> <p>【指標】 窓口・電話対応に対する苦情「ゼロ」を目指します。</p>
	2. 実績(成果)	<p>窓口・電話対応においては、全職員が協力し迅速で親切・丁寧な対応を心がけました。その結果、窓口・電話対応に対する市民からの苦情はありませんでした。</p>
	3. 評価	○
		<p>朝礼などにより職員相互間の情報の共有化及び協力体制の構築を図ることができました。 また、窓口・電話対応の向上に努めたことにより、大きな苦情は寄せられませんでした。</p>
	4. 今後の展開	<p>接遇においてベストはないと思います。なお一層の窓口・電話対応の向上に努めていきます。</p>